



神石小だより

神石高原町立神石小学校

学校だより12月号

令和6年12月11日

修学旅行

11月14日(木)・15日(金)の2日間、6年生が神石高原中学校区の小学校3校合同で修学旅行に行ってきました。見学地では、「時間を守る」「話を聞く」「マナーを守る」など、当たり前のことを当たり前、そして自分たちで考えて行動することができました。2日間で大きく成長したことを、今後の学校生活でもしっかり生かすとともに、最高学年として下学年の手本となる姿をどんどん見せてほしいと思います。



1日目

出発式



鹿苑寺



東映太秦映画村



清水寺



二条城



ホテル



法隆寺



2日目

京都タワー



東大寺



海遊館



解散式



ルーティンの大切さについて

先月、当たり前のことを当たり前にする子供達のことについて、この欄にて話題にしました。続きのような内容になりますが、今回はルーティンのことについて話をさせていただきます。

学校での子供達には、朝のルーティンがあります。靴を履き替える。教室で宿題などの提出物を出す。教科書や筆箱などを机の中に入れる。ランドセルなどの荷物をロッカーに入れる。トイレに行く。係や委員会の仕事をする。(健康観察簿を教室に持って行く・あいさつ運動をするなど)

また、授業と授業の間の休憩時間にも、次のようなルーティンがあります。(号令をかけて授業が終わった後)教科書やノートを片付ける。次の授業で必要な教科書やノートを準備する。トイレに行く。などです。これらルーティンについて、ラグビー五郎丸選手のサポートをされた荒木香織さんは、著書「ラグビー日本代表を変えた『心の鍛え方』」の中で、ルーティンを行うことで、「身体が『いまからこのプレーをするのだな』と理解して、そのための準備に入る。」と言っています。私は、身体だけでなく、『心』もその準備に入るという意味も含まれているとその書を読み進めるうちに感じました。

戻って、先の自分のルーティンができている子供達は、授業が始まるとすぐに休憩から学習へと頭が切り替わっているように見えます。逆に休憩時間になってすぐには次の授業準備ができていなかったりトイレに行かなかったりした子供達は、授業が始まって机の上が散らかっていて授業に集中できなかったり、途中でトイレに行ったりして授業の理解が中途半端で終わってしまいます。

月末から冬休みに入ります。年末年始には、少し心の緩みもあるうかと思いますが、始業式には、よいルーティンで様々な活動を始められるようにご協力いただきますようお願い申し上げます。

終わりましたでしたが、今年一年本校教育に對しまして、ご理解ご協力いただきありがとうございます。来年も引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願いします。

学校長 田丸 栄

マラソン大会

11月22日(金)にマラソン大会を開催しました。子供達は、自分の目標を立て、毎日業間タイムにマラソンの練習に励んできました。低学年1km、中学年1.5km、高学年2kmの道のりを全員が力いっぱい走り抜きました。今年もたくさんの保護者の皆様に応援に来ていただきました。ありがとうございました。



2学期末PTA

12月3日(火)2学期末PTAを行いました。久しぶりにご参観いただいた子供達の姿はいかがだったでしょうか。2学期にいろいろな行事を通して成長した姿を見ていただけたのではないかと思います。また、その後の全体会、学級懇談会にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。



いじめ、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口について
神石小学校に相談窓口を設置しております。児童や教職員に関して相談の窓口を設けています。小さな事でもご相談ください。担当は、高橋教頭・里道教諭・重松養護教諭です。

神石小学校の教育活動をホームページでも公開していますので、ご覧ください

jinsekigun.jp/school/jinsekisho/

学校閉庁(12月29日～1月3日) 緊急連絡先

神石高原町教育委員会 89-3341